

2019 年度 第 2 回 運営委員会 議事録

日時：2019 年 6 月 2 日(日) PM 1:00～5:00

場所：京都教育文化センター 204 号室

出席者：伊藤、片岡、川端、汾陽、近藤、謝敷、鈴木、野嶋、花原、ふじい、三田村、武蔵、目良
(あいうえお順)

議題

会員の動向

●黒崎 彰氏ご逝去に伴う版画京都展実行委員会運営について

- ・黒崎氏の後任の委員長を選任し、銀行関係などの名義の変更手続きを行う。
→後任の委員長は、武蔵氏に依頼し、総会で承認されれば就任していただくこととなった。
→銀行関係の名義変更は花原氏が担当。
- ・名義変更に伴う、会の規定の変更箇所
→委員長を武蔵氏に、事務局長を三田村氏に書き換える。
→運営委員の人数を現在の人数に書き換える。

総会は年1回、5月末頃開催することし、不足の場合は臨時総会で対応する。

●お別れの会について

10 月 22 日～27 日に、名誉教授を務められていた京都精華大学のギャラリーフロールにて、遺作展を企画している。

武蔵氏よりその期間中の、10 月 26 日(土)に大学内の学食及び大学近くのレストラン「レアタ」にて京都精華大学版画研究室と版画京都展実行委員会の連名でお別れ会を企画するという案が提案された。

→経費は精華大版画研究室の方で負担していただけるとのことであったが、会としても 10 万円程度の負担をしたいと提案した。

→レストラン「レアタ」では多少のお酒も対応できるので、そちらでは会費を 5000 円程度とし、黒崎先生が昨年出版された「世界版画全史」を会葬返礼品とすることを考えている。また、大学内の学食ではお酒は提供できないが、茶話会なので会費は無料とし、「世界版画全史」は 3000 円での販売となる。

上部組織の日本版画協会としては「お別れ会」の開催は無く、本展覧会で物故者として展示される。

2. 2018 年度決算報告および 2019 年度予算案 <花原氏>

- ・予算案の会員慶弔費では、黒崎氏へのお香典として 5 万円を掲載したが、黒崎氏の功績を鑑みると金額的に低いため、ご家族へ 5 万円、後はお別れ会への出資として対応する。
- ・会計的には閉会の時期は 2020 年度(2021 年 3 月末)が妥当。もしギャラリーの都合で閉会展の時期がそれ以降になる場合は、休眠状態(全く活動せず、WEB も触らない状態)で閉会時期を延ばすことは可能であるが、休眠期間が長くなるとモチベーションが下がると思われる。

3. オーストラリアお返し展の進捗状況

4 月 21 日に京都精華大学にて全ての作品の撮影を終了し、オーストラリアへデータ送信済み。
9 月 20 日にオープニング、21 日にシンポジウムが決まっており、武蔵氏と近藤氏が参加する。

4. 第1回実行委員会(総会)の議題の検討

- ・委員長の交代と会則の変更について、報告と承認
- ・黒崎先生ご逝去について、お別れ会などのご報告
- ・決算 予算の報告と会の閉会時期。会の資産処理について。
- ・閉会展について

5. その他

○JARFO 小品展の巡回展について 報告 <片岡氏>

6 月 13 日～18 日 アートスペース 973(舞鶴)、7 月 2 日～14 日 ギャラリー悠玄(京都東山)での開催が決まっている。アートスペース 973 は会場が狭いので DM は作らない。ギャラリー悠玄については追って作成となる。

○閉会にあたり

・ホテルなどでクロージングパーティを開催するという案も出ていたが、会でお世話になったギャラリー数箇所(ヒルゲート、恵風、JARFO など)で閉会展を行う方がより広く会の閉会を知らせることが予測出来るため、閉会展の開催をすることとなった。

→複数のギャラリーでの同時開催は難しいことが予想される。

ギャラリーとの交渉をはじめ、具体的なスケジュールを決定する。

→会場が決まってから、どのギャラリーで誰が展示するか。作品のサイズなど詳細を決めていく。

→会員全員の出品が望ましいが、辞退者が出る可能性もあるため、ハガキで参加の可否を確認する。

・会の資産である、物納された 14 冊の京都十景画集は過去の協賛金高額出資者に謹呈する。

→高額出資者が京都十景をすでに購入されている可能性も考えられるため精査。

○「京都十景」の今後について

「京都十景」担当の斎藤氏から京都十景の今後について、黒崎氏のご逝去に伴い前回の第 7 集をもって終了したいとの申し出があった。

今後、継続の場合は担当交代の要望あり。

→「京都十景」担当で中心となって苦勞をされてきた斎藤氏の申し出で異存なし。ただし、制作済みの「めおと箱」の処理やご贖戻様方へのご挨拶等の残務整理は引き続き斎藤氏担当を依頼する。

→展覧会を予定していたギャラリーへ早急に中止をお伝えする。(6/2 本会議終了後、伝達済)

(文責:目良)